



ボランティアセンターだより



2019年10月 No. 131号

「福祉のおまつり」開催のご案内

●なんだん福祉まつり

日時：11月9日（土）10時～13時
場所：賀集地区公民館

●せいだんふれあい交流のつどい

日時：11月10日（日）12時～15時
場所：湊地区公民館

●みどりふれあい福祉のつどい

日時：11月23日（土）
10時30分～14時
場所：広田地区公民館

舞台発表やふるまい、
体験ブースなど



「赤い羽根共同募金運動」 が始まります

今年も10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。最も身近でできるボランティア活動として、今年で73回目を迎えます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



募金いただいた内の9割は

南あわじ市内で活用されています

集められた募金は、市内の高齢者や障がい者、子どもたちへの福祉活動、地域でさまざまな福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられています。

10月15日は「たすけあいの日」

全国社会福祉協議会が1965(昭和40)年に制定しました。日常生活での助け合いや、地域社会でのボランティア活動を積極的な参加を呼びかける日です。



♪ ボランティア募集 ♪

おまつりの当日、一緒に活動して下さるボランティアを募集しています♪

★着ぐるみボランティア

社協キャラクター「み～あ」として会場を盛り上げるお手伝い

★各ブースのお手伝い

受付や各種催しなど会場運営のお手伝い

★共同募金運動の啓発

共同募金運動のPR活動のお手伝い



おもいやりポイント制度説明会

日時：10月15日（火）14時～
場所：どんぐりの里（松帆榎田550）

【同時開催】

施設見学&体験

（入浴後の身だしなみ補助など）



～おもいやりポイントって？～

南あわじ市では、シニア世代がこれまで培ってきた能力や経験を生かし、市内の施設などで行うさまざまな活動に応じて“おもいやりポイント”が付与されるしくみをすすめています。



発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL：44-3007 FAX：44-3037
MAIL：info@minamiawaji-shakyo.or.jp



生活支援コーディネーターだより



支え合いを作る地域のか

～支え合い（防災）マップ作り～



せいだん支部

「支え合い（防災）マップづくり体験会」

8月30日西淡地域で「支え合い（防災）マップ作り体験会」が開催され、参加者にマップ作りの体験をしていただきました。「支え合いマップ」作りとは、地区の大きなマップを机上に広げ、地区の住民で避難場所を把握し、災害時の危険箇所や見守りの必要な方（独居、高齢者世帯、障がい者世帯など）、住民同士の交流状態、地域資源、空き家などを確認しながら、地図上に色分けしたシールを貼り、書き込みをします。できるだけ多くの気付きや発見をしてそこから見えてくる課題に対し、対策を考えながら、地域での住民同士の支え合いをしていくためのひとつの方法です。

南あわじ市危機管理課から、過去の西淡地域での災害状況や警戒されている南海トラフ地震について、また、社協せいだん支部の山口支部長からは過去の松帆地区水害について映像を交えながら当時の話を伺いました。当事者の話であり、実際の生活圏で起こった災害の映像を目の当たりにできたことで、イメージを持ちながらマップ作りに入っていくことができました。今回マップ作りに参加してくださったのは、自治会長・消防団・民生児童委員・公民館長・支部運営委員などです。各地区男女混合の5名以上のグループに分かれ、地図にシールを貼り、付箋での書き込みをしながら、地図を埋めていきました。色々な分野の方が集まったことにより、地区の状況が共有できました。「何でも知っているつもりだったのに、知らないことがたくさんあった」と地域をよく周知されている自治会長の言葉に驚きと、支え合いマップづくりの大切さを改めて感じました。

マップは作り終わることが目的ではありません。住民のニーズや内容は常に変動しており、マップを作る過程もさることながら、常に変化していく住民の生活課題に対応する支え合い活動を持続・開発することが重要です。「隣保ごとの小さい地区でのマップ作りが大切だ」との声を多く聞くことができ、今後の地域での展開を支援していきたいと思えます。



ぼうさいカフェIN 緑

みどり支部

緑地域では、長田地区が平成25年「災害時要援護者避難支援対策」のモデル地域に指定され「長田地区自主防災組織」を立ち上げ、以来、毎年個別支援計画書を更新しています。また、山添サロンでは、毎年夏祭りで、子どもたちとのふれあいを通して、防災教育を行っています。他にも、川向地区自治会では、昨年より自主的に防災マップづくりを始め、今年は更新するなど防災に対しての活動が広がりつつある地域です。

9月1日緑地域のぼうさいカフェが開催されました。平成23年に初めて開催され、今回で9回目となります。今回のぼうさいカフェには50名近くの方々が参加し、山添・川向の取り組みの様子



子を代表者から伺ったあと、防災マップづくりを体験しました。身近な地区での防災への取り組みを聴き、「自分たちの地区でも！」という意識が高まったと思います。また、マップづくりを持続していく上で「世代間の情報の共有がとても大切」という意見もありました。色々な角度から見た防災マップが作成され、それが継続され、地域の支え合いができれば！と思います。